

9. 握力の状況

握力は男子では24歳の50kg、女子では19歳の28kgを頂点としてその後は年齢が増加するにつれて男女とも低下している。(第129表) 男女差の著しくなるのは、16～17歳の年齢であり、男子はおおむね女子より60～70%上回り、その状態は50歳代まで続いている。

10 血圧の状況

血圧の状況については、従来最高血圧及び最低血圧を別途に集計したが、昭和46年度は個人別に最高、最低血圧を測定し、低血圧、正常、準高血圧、高血圧の4区分に分けて集計した。

性別、年齢階級別に高血圧者の割合をみると50歳未満の年齢層では男の方が高血圧者が多く、20歳代で3%，30歳代で10%，40歳代で18%みうけられる。50歳代は男女ともほぼ同数となり、60歳以上では男の高血圧者45%に対し、女は51%と過半数に及んでいる(図一12)。農家、非農家世帯と比較した場合は、非農家世帯の50歳代の男の高血圧者は34%で、農家世帯の25%よりも高率であるが、60歳以上の年齢層では農家世帯の方が高血圧者の割合が高くなっている。(第125表、第126表)

職業別にみると、日雇世帯は高血圧者が男18%，女14%で他の職業と比較して高血圧者が多い傾向がみられるが、勤労職員は高血圧者が非常に少ない(第127表)。特に女の勤労職員は他の職業の女性と比べて準高血圧は8%，高血圧者は3%とその割合が非常に少ない。

年齢の増加とブローカ指数の増加の関係が比較的少ない20歳以上の成人男子について、ブローカ指数と血圧との関係をみるとブローカ指数が80未満では高血圧者は7%であるが、ブローカ指数の増加とともに高血圧者も増加し、ブローカ指数120以上では高血圧者が38%と約1/3の者が高血圧者である。(第128表)

(注) 血圧区分

低 血 圧	最高血圧90mmHg未満のもの
正 常 者	最高血圧 90～140mmHgで、かつ、 最低血圧90mmHg未満のもの
準高血圧	最高血圧が140～160mmHgか、最低 血圧が90～95mmHgのもの
高 血 圧	最高血圧が 160mmHg 以上か、最低 血圧が95mmHg以上のもの

図一12 各年齢階級毎にみた高血圧者の占める割合

